

スカパーJSATグループ 2022年度上半期番組審議会（議事要旨）

（スカパーJSAT 第38回、スカパー・エンターテイメント第31回）

開催年月日：2022年9月15日（木）

開催方式：リモート形式での集合開催

出席者

（審議委員）

委員数：7名 /出席委員数：6名

審議委員長：高畑 文雄

委員：崔 洋一（欠席）

委員：二宮 清純

委員：草野 満代

委員：田中 里沙

委員：安田 洋祐

委員：山本 浩二

（スカパーJSATグループ）

米倉 英一：スカパーJSAT(株) 代表取締役 執行役員社長

小川 正人：スカパーJSAT(株) 取締役 執行役員専務 メディア事業部門長

手塚 久：スカパーJSAT(株) 執行役員 メディア事業部門長代行

奥永 孝仁：(株)スカパー・エンターテイメント 代表取締役社長

志塚 真理：スカパーJSAT(株) メディア事業部門 メディア事業本部 スポーツジャンル事業部長

明石 静：スカパーJSAT(株) メディア事業部門 メディア事業本部 エンタメジャンル事業部長

相良 美恵：(株)スカパー・エンターテイメント 放送推進部長

（報告者）

松浦 睦晋：スカパーJSAT(株) メディア事業部門 メディア事業本部 スポーツジャンル事業部 第3チーム

五十嵐 万莉：スカパーJSAT(株) メディア事業部門 メディア事業本部 エンタメジャンル事業部 第2チーム

奥永 孝仁：(株)スカパー・エンターテイメント 代表取締役社長

（陪席）

萩原 健太郎：スカパーJSAT(株) メディア事業部門 メディア事業本部 スポーツジャンル事業部 第3チーム長
代行

岡田 誠：スカパーJSAT(株) メディア事業部門 メディア事業本部 エンタメジャンル事業部 第2チーム長

（事務局）

田井 達夫：スカパーJSAT(株) メディア事業部門 メディア事業本部 コンテンツ推進部長

山田 巳奈 / 浅田 裕海 / 岩倉 俊樹：同 コンテンツ推進部

<番組審議>

審議番組 (1) 『煌めく☆まるごとスターダム』

報告者：松浦 睦晋

◆放送概要

放送日：2021年10月25日（木）開始 月1回新作放送・配信

放送チャンネル：FIGHTING TV サムライ／スポーツライブ+／BSスカパー！

配信：サムライTV オンデマンド 等

◆番組概要

人気 No.1 の女子プロレス団体「スターダム」全面協力のもと、選手たちの素顔に迫る 60 分のバラエティ番組。スタジオには「スターダム」の精鋭たちが集い、ゲーム等に興じ、試合会場では見られない素の魅力を存分に披露。

【出演者】

MC：レーザーラモン（HG、RG）／アシスタント：小坂井 祐莉絵

「スターダム」所属選手

◆番組企画意図

「スターダム」をきっかけに若年ファンが増え、10 代の少女たちを熱狂させた女子プロレスブームが再燃する一助になるような番組づくりを目指す。

◆審議委員会からのご意見

- 飽きさせない、非常に良い構成。多数台のカメラ使用も効果的で、選手のいい表情が撮れ、一人一人のキャラクターが浮き彫りになっている。
 - 司会の「レーザーラモン」はプロレスのことを良く分かっておりハマリ役。
 - 番組を見ている視聴者も、この会場の中で一緒に遊んでいるような臨場感が得られる工夫がなされている。
 - 飾らない生き方や、癒されるメッセージが出ており、出演している女性たちのリアルな姿に共感できる。
 - 相当なトレーニングを積んでいるであろう選手たちの普段の努力が、ゲームの中でも言葉になって出てきている。
 - もう少し個人または個々の団体について深掘りしたほうが、一般の視聴者にとっては嬉しいのではないか。
 - マーケットとしても早い段階で手をつけ、単独の番組として成立させている企画力が素晴らしい。
- ➡ 大変貴重なご意見をいただき感謝いたしますとともに、いただいたご意見をもとに、さらに楽しめる番組にしていくよう邁進してまいります。

報告者：五十嵐 万莉

◆放送概要

放送日時：2022年3月1日（木）開始 月1回放送

放送チャンネル：BSスカパー！

◆番組概要

宝塚ファン初心者山里亮太が宝塚OGをゲストに迎え、宝塚歌劇の世界を深掘り。ここでしか聞けない宝塚OGのトーク等、宝塚ファン必見のバラエティ。

【出演者】

山里亮太／愛月ひかる、伶美うらら、等宝塚OG

◆番組企画意図

敷居が高いイメージがある宝塚歌劇の世界を山里亮太が深掘りすることで、従来のファンだけではなく、今まで馴染みのなかった新しいファンの方にもアプローチし、宝塚ファンの裾野をより広げて行きたい。

◆審議委員会からのご意見

- これまで見てきた宝塚関連の番組の中で1番面白い。それは、水を得た魚のようなMCの山里さんの存在が大きい。
 - どんな立場の人でも、楽しく気持ちよく見られる完成度の高い番組に仕上がっている。コアなファン向けではあるものの、宝塚の知識が無くてもショーとして楽しめる。企画力の勝利であり、ヒットの芽を見逃さなかったのは本当に素晴らしい。
 - 山里さんの番組を見ているようで、宝塚に引き込まれる感じがあまりしない。やはりコアなファンがいて、入り難い印象を持ってしまった。宝塚のディープなファンの満足度を高める方向に舵を切る方が良いのではないか。
 - 宝塚ファンにとって、大変嬉しいプログラムであることは間違いない。バーチャル背景も良い。一方で、トークの中に写真やプライベート映像があると、ファンはもっと嬉しいと思う。
 - 中の人々が、直接リアルなことを語ってくれる場は大変に貴重。新しい宝塚ファン層を拡大するのに機能する番組になる期待ができる。
 - 彼女たちは一体どんなトレーニングをしているんだろうとの興味はある。その辺も加えていけたら、さらに番組がグレードアップすると思う。
- ➡ いただきました貴重なご意見を今後の番組づくりに反映し、ファンの方により喜ばれる番組になるよう努力をさせていただきます。

<報告事項>

スカパー・エンターテイメントの番組審議について

報告者：奥永 孝仁

<報告内容>

(株)スカパー・エンターテイメントでは、衛星基幹放送事業者として、2Kの7チャンネル、4Kの8チャンネル、合計15チャンネルを110度上で、また一般放送事業者として計137チャンネルを運営。

2019年上期より内規・判断基準を明確化。LEVEL1「様子見」、LEVEL2「要注意」は対応不要、LEVEL3「要対応」は放送を見合わせる等の対応をとるべきとの基準を策定し、番組供給事業者へも説明をしている。

前回番組審議会後に対応した考査事例について報告。

グループ内でのコンプライアンス対応については、コンテンツ推進部内で番組とCMの考査を実施。案件発生の場合は、対応案を作成、考査相談役とも話し合いののち、総責任者が最終決定をし、放送事業者や権利元等々への対応を図る運営を行っている。

また今年度より、スポンサー持ち込み案件や番組配信についても考査体制を整備した。

以上